

## 「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

### コロナ禍を生きる

なかなか終息の見えない新型コロナウイルスによる感染症。欧米では再び増加が激しく、ロックダウンの措置をとる国も出てきています。日本においても、横ばいからやや増加というところで、なかなか気が抜けません。過日は身近なところで起こり、保護者の皆様にもご心配をおかけしました。これから寒くなると、風邪や季節性のインフルエンザ等の流行も合わせて心配されます。普通に生活していても、いつ私ども教職員をはじめ、児童、保護者の皆様、関係機関の方々に感染者が出るかわからない状況です。

- ・専門機関との連絡を素早くし、確実の情報のみを正確に伝えること。
- ・感染した方やその家族が、精神的にも肉体的にも最もつらいことを考え、偏見や差別のないように周囲に働きかけていくこと。
- ・常に身の回りには危険があることを自覚し、できる対策を続けること。
- ・体調不良の時には、決して無理をせず、早めに医療に相談すること。

などの大切さを改めて感じました。今回、兄弟姉妹児童の様子を家庭で見てくださったり、仕事を急遽オンラインにかえてくださったりした皆様、また、状況を見守ってくださった皆様、温かい言葉をかけてくださった皆様…保護者の皆様のご理解に感謝申し上げます。今後も、心配だったり不安になったりする状況が身の回りに起こるかもしれませんが、ぜひご協力ください。今後も朝の検温等、よろしくお願いいたします。

### 6年生とともに修学旅行へ

10月26～28日に6年生とともに修学旅行に行ってきました。学校が再開された5月末には、修学旅行を実施する目途など全く付いていなかったのですが、保護者の皆様の同意(書)をいただき2泊3日でお出かけしてきました。当初の予定の東京には行けませんでした。鎌倉で座禅体験をしたり、お城や水族館、動物園、科学館を見学したり、絞り染めを体験したり、おいしいものをおなか一杯食べたり豪華なホテルに泊まったり…たくさんの笑顔や驚きを見ることができうれしく感じました。これからも感染防止に注意を払いながら、行事を進めていくこととなります。一回り成長した6年生の姿を見るのが楽しみです。



円覚寺での座禅体験

### 二名の教育実習生

今4年1組に市川未侑さんが、5年1組に小田切さわさんが教育実習に来ています。二人とも本校の出身で、教職を目指している若者です。短い期間ではありますが、たくさんのことを学び、明日の子供たちのため、未来の山梨教育のため、力を発揮して欲しいと願っています。若いお二人の姿に、子供たちも大喜びです。私どもも、良い刺激を受けています。



## 当たり前の一言

世界で一番うたわれている歌は何だと思えますか。いくつか思い浮かぶと思えますが・・・正解は「ハッピー・バースデー」らしいです。世界には約76億人の人がいて、毎日が多くの人の誕生日にあたるからです。

この「ハッピー・バースデー」という歌は、今から120年ほど前にアメリカで作られた曲で、原曲は「Good morning to all」という曲だといわれています。

Good morning to you

Good morning to you

Good morning dear children

Good morning to all



「すべての子供たちに素敵なお朝を」、そんな当たり前の幸せを歌った曲です。

「Good morning」、「Bonjour (ボンジュール)」、「Buenos Dias (フェノス ディーアス)」、「Buongiorno (ボンジョルノ)」、「안녕하세요 (アンニョンハセヨ)」、「早安 (ツァオ・アン)」、「おはよう」・・・どこの国でも、当たり前の一言から1日が始まります。百田小学校でも、この当たり前で幸せな一言が元気にとびかうようになることを願って、今日もあいさつ運動が続けられています。朝通学路に立っていますと、一学期に比べ、子供たちのあいさつの声も少しずつ出てきているように感じられます。

## ビートルズの願い

1966年6月30日と7月1日、ビートルズのコンサートが日本武道館で行われました。4人のメンバーに要した警備員は、約8500人。当時ロックという音楽に違和感を覚え、「コンサートに行かないように」と厳しく指導された学校もあるようです。しかし、今ではビートルズの曲は中学校や高等学校の教科書に載っています。

当初、日本武道館は「伝統的な武道の精神に反するビートルズには使わせない」という対応だったと聞きます。これに対してメンバーの一人であるポール・マッカートニーは「日本の武道団が、英国王立劇場で出演しても伝統を汚されたとは思わない」と答えたといわれています。今となっては当たり前のことですが、「自国の伝統」とともに「他国の文化」の尊重を重んじた発言だったと思います。

同じ記者会見の中で、「あなた方は富と名声を手に入れたけれど、次にほしいものは何ですか」という質問に対し、ジョン・レノンは『PEACE』と答えました。記者たちはみなジョークだと思い、その場で笑ったといわれています。

あれから54年、半世紀以上たち、世界は平和になっているでしょうか。今でも世界中で戦争や紛争が続いています。飢えや環境破壊も進んでいます。その上、新型コロナウイルス蔓延も・・・。あの時、ジョン・レノンは本気で「平和」を願ったのではないのでしょうか。彼のその後の反戦活動からも、それがうかがえます。ぜひビートルズ来日100周年までには、『PEACE』が世界中に広がっていることを願いたいですね。世界すべての人の手に「平和」が届きますように。子供たちの今後に期待して、私たちもできることから始めましょう。

※残念ながら私は当時3歳、コンサートを見ることはできませんでした。

